

宗教学専攻分野

| 授業科目        | 講義題目          | 単位 | 担当教員氏名                             | 開講<br>学期 | 曜日 | 講時  | 頁 | 平成30年度以前入学者<br>読替先授業科目 |
|-------------|---------------|----|------------------------------------|----------|----|-----|---|------------------------|
| 宗教学特論Ⅰ      | 自然災害と宗教       | 2  | 木村 敏明                              | 2学期      | 火  | 3   | 1 | 宗教学特論Ⅰ                 |
| 宗教学特論Ⅱ      | 宗教と飲むこと・食えること | 2  | 山田 仁史                              | 1学期      | 火  | 3   | 2 | 宗教学特論Ⅱ                 |
| 宗教学特論Ⅲ      | 社会学年報学派の宗教学思想 | 2  | 山崎 亮                               | 集中(2学期)  |    |     | 3 | 宗教学特論Ⅳ                 |
| 宗教学死生学総合演習Ⅰ | 宗教研究の技法       | 2  | 木村 敏明、高橋<br>原、谷山 洋三、山<br>田 仁史、大村哲夫 | 1学期      | 火  | 5   | 4 | 宗教学研究演習Ⅰ               |
| 宗教学死生学総合演習Ⅱ | 宗教学死生学研究法     | 2  | 木村 敏明、高橋<br>原、谷山 洋三、山<br>田 仁史、大村哲夫 | 2学期      | 火  | 5   | 5 | 宗教学研究演習Ⅱ               |
| 宗教学死生学研究演習Ⅰ | 宗教学の基礎理論      | 2  | 木村 敏明                              | 1学期      | 金  | 3   | 6 | 宗教学研究演習Ⅲ               |
| 宗教学死生学研究演習Ⅱ | ウェスターマルク再読    | 2  | 山田 仁史                              | 2学期      | 火  | 2   | 7 | 宗教学研究演習Ⅳ               |
| 宗教学研究実習Ⅰ    | 宗教学調査法        | 2  | 木村 敏明、山田<br>仁史                     | 1学期      | 月  | 4・5 | 8 | 宗教学実習Ⅰ                 |
| 宗教学研究実習Ⅱ    | 宗教学調査法        | 2  | 木村 敏明、山田<br>仁史                     | 2学期      | 月  | 4・5 | 9 | 宗教学実習Ⅱ                 |

**科目名：宗教学特論Ⅰ／ Religious Studies (Advanced Lecture)**

**曜日・講時：**後期 火曜日 3講時

**学期：**2学期, **単位数：**2

**担当教員：**木村 敏明 (教授)

**講義コード：**LM22302, **科目ナンバリング：**LGH-RES601J, **使用言語：**日本語

**【(平成30年度以前入学者) 対応科目名： 宗教学特論Ⅰ】**

**1. 授業題目：**

自然災害と宗教

**2. Course Title (授業題目)：**

Natural Disaster and Religion

**3. 授業の目的と概要：**

突然にやってきて人々の日常生活の基盤を突き崩してしまう自然災害。被災者たちや周囲の人々が災害を受け止め、生活を立て直す中で、宗教はいかなる役割を果たしてきたのか。この授業では自然災害をめぐる宗教的観念、儀礼的实践を概観しつつ、現代社会における宗教の意義や課題について論じるとともに、高度な宗教学的知見をもとに議論を行うことで問題の理解を深める。

**4. 学習の到達目標：**

宗教学的なものの見方をみにつけることができる。

現代社会における宗教の意義や課題について具体的な事例を通して理解できる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. イントロダクション
2. 自然災害をめぐる観念：神話における災害
3. 自然災害をめぐる観念：「怪物」の表象
4. 自然災害をめぐる観念：諸宗教伝統の災害観
5. 自然災害をめぐる観念：災因論
6. 自然災害をめぐる観念：神義論の諸相
7. 小括
8. 自然災害をめぐる儀礼：予防儀礼と減災儀礼
9. 自然災害をめぐる儀礼：災禍の儀礼
10. 自然災害をめぐる儀礼：慰霊・追悼・記念の儀礼
11. 自然災害をめぐる儀礼：儀礼の復活とその意義
12. 小括
13. 復興と宗教：ソーシャル・キャピタル
14. 復興と宗教：レジリエンス
15. まとめ

**6. 成績評価方法：**

毎回の授業後提出の小レポート{40%}、期末レポート[60%]

**7. 教科書および参考書：**

教科書は用いない。参考書は授業中に指示する。

**8. 授業時間外学習：**

新聞や読書などで普段からトピックに関連した情報を収集するようにつとめ、授業後の小レポートに反映させる。

**9. その他：**なし

**科目名：宗教学特論Ⅱ／ Religious Studies (Advanced Lecture)**

**曜日・講時：**前期 火曜日 3講時

**学期：**1 学期, **単位数：**2

**担当教員：**山田 仁史 (准教授)

**講義コード：**LM12302, **科目ナンバリング：**LGH-RES602J, **使用言語：**日本語

**【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 宗教学特論Ⅱ 】**

**1. 授業題目：**

宗教と飲むこと・食べること

**2. Course Title (授業題目)：**

Religion and food

**3. 授業の目的と概要：**

宗教は衣食住を含む人間の生活様式、すなわち文化一般と深いかかわりを持つ。この講義では、そのうち食との関係に焦点を当て、宗教民族学・宗教人類学の視点から様々なトピックを取り上げて語ってゆく。

**4. 学習の到達目標：**

(1) 宗教を、教義や歴史からではなく、人間の生活文化に根ざし、深くかかわるものとしてとらえる視点を養う。(2) 大宗教のみならず、人類諸社会の信仰形態の多様性を理解する。(3) 宗教民族学・宗教人類学における資料の性質と扱い方について、洞察を深める。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

以下のように語ってゆきます。

- 1 はじめに：宗教と飲食
- 2 狩猟採集民の食と世界観
- 3 牧畜民の食と世界観
- 4 農耕民の食と世界観
- 5 水：この両義的なもの
- 6 火：神話・料理・シンボリズム
- 7 シャマニズムとベニテングタケ
- 8 ベテルとカヴァ
- 9 酒を飲むか飲まざるか
- 10 海の幸と山の幸：タブーと交流
- 11 カニバリズム：諸事実と諸理論
- 12 肉食と供犠
- 13 死者への／との食べ物
- 14 宗教的断食・世俗的拒食
- 15 おわりに：聖と俗、性と食

**6. 成績評価方法：**

学期末レポート（講義内容に関連のあるテーマを自由に設定し論じる。80%）および毎回のフィードバック（出欠確認を兼ねる。20%）により評価します。

**7. 教科書および参考書：**

参考書：山田仁史『いかもの喰い：犬・土・人の食と信仰』亜紀書房、2017 年（入手は任意）。

**8. 授業時間外学習：**

レポート作成時にフィールドワークまたは文献調査をしっかりと行なってください。

**9. その他：**なし

**科目名：宗教学特論Ⅲ／ Religious Studies (Advanced Lecture)**

**曜日・講時：**後期集中 その他 連講

**学期：**集中(2学期)， **単位数：**2

**担当教員：**山崎 亮（非常勤講師）

**講義コード：**LM98815, **科目ナンバリング：**LGH-RES603J, **使用言語：**日本語

**【(平成30年度以前入学者) 対応科目名： 宗教学特論Ⅳ 】**

**1. 授業題目：**

社会学年報学派の宗教学思想

**2. Course Title (授業題目)：**

Thoughts of "science des religions" in the school of "l'Année sociologique"

**3. 授業の目的と概要：**

エミール・デュルケーム(1858-1917)は1898年に『社会学年報(l'Année sociologique)』を創刊するが、そこではとりわけ「宗教社会学(sociologie religieuse)」が重視され、アンリ・ユベール(1872-1927)やマルセル・モース(1872-1950)らとの共同作業のなかで、独自の宗教学思想が生成していく。この授業では、社会学年報学派の宗教研究を総体としてとらえる視点から、デュルケーム晩年の主著で宗教学の古典でもある『宗教生活の基本形態』(1912)の成立を読み解いていく。

**4. 学習の到達目標：**

社会学年報学派の宗教学思想の展開を理解することを通じて、近代宗教学成立の意義とその限界を考察する。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

以下のようなトピックスを取り上げる予定である。

1. 背景となる近代宗教学成立期の概観と「宗教学思想」の観点

2. 『自殺論』(1897)から『基本形態』への移り行き——歴史的・強圧的社会観から共時的・弁証法的社会観へ、「世俗化」論から「自然的宗教」論へ

3. 社会学年報学派の宗教研究——デュルケーム、ユベール、モース、ロベール・エルツ

4. 学説批判——M. ミュラー、E. B. タイラー、J. G. フレーザー、A. ラング、W. シュミット、ロバートソン・スミス、L. レヴィ＝ブリュル、W. ジェームズ、I. カント etc.

5. システムとしての宗教——トーテミズムと「宗教生活の基本形態(formes élémentaires de la vie religieuse)」

6. 儀礼のメカニズム——供犠、聖俗転換、合一(communion)と沸騰(effervescence)

7. 呪術と宗教——個人的なるものと社会的なるもの、マナ、非人格的な宗教的力、集合的力

8. 具体的な宗教現象との関連——聖俗観念、浄・不浄観念、靈魂観、禁忌、祝祭 etc.

9. 社会学的認識論——カテゴリー、分類体系、因果律、科学的思考と宗教的思考の連続性

10. 「人間科学(science de l'homme)」としての宗教学——宗教の「活力発生的(dynamogénique)」機能の発見と「人間本性の二元性」

11. 日本における受容と展開——古野清人訳『宗教生活の原初形態』の功罪、「社会学者デュルケーム」の呪縛

**6. 成績評価方法：**

授業後提出するレポートによる。

**7. 教科書および参考書：**

基本的な参考書として、山崎亮『デュルケーム宗教学思想の研究』(未来社、2001)とエミール・デュルケーム(山崎亮訳)『宗教生活の基本形態——オーストラリアにおけるトーテム体系』上下(ちくま学芸文庫、2014)を挙げておく。

**8. 授業時間外学習：**

事前に、近代宗教学成立期に関する一般的な知識を習得・整理しておくことが望ましい。

**9. その他：**なし

科目名：宗教学死生学総合演習Ⅰ／ Religious Studies / Death & Life Studies (Integration Seminar)

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、山田 仁史、大村哲夫（教授、准教授）

講義コード：LM12503， 科目ナンバリング：LGH-RES604J， 使用言語：日本語

【（平成 30 年度以前入学者）対応科目名： 宗教学研究演習Ⅰ 】

1. 授業題目：

宗教研究の技法

2. Course Title（授業題目）：

How to study religions: presentation and discussion class

3. 授業の目的と概要：

毎回大学院生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。

4. 学習の到達目標：

宗教研究のために必要な知識と技法を習得することができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODクシヨン：授業の狙いおよび進め方
2. 発表 1
3. 発表 2
4. 発表 3
5. 発表 4
6. 発表 5
7. 発表 6
8. 発表 7
9. 発表 8
10. 発表 9
11. 発表 10
12. 発表 11
13. 発表 12
14. 発表 13
15. 発表 14

6. 成績評価方法：

発表および討論への参加

7. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

8. 授業時間外学習：

発表準備。

Preparation for presentation

9. その他：なし

科目名：宗教学死生学総合演習Ⅱ／ Religious Studies / Death & Life Studies (Integration Seminar)

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、山田 仁史、大村哲夫（教授、准教授）

講義コード：LM22503， 科目ナンバリング：LGH-RES605J， 使用言語：日本語

【（平成 30 年度以前入学者）対応科目名： 宗教学研究演習Ⅱ 】

1. 授業題目：

宗教学死生学研究法

2. Course Title（授業題目）：

Method of Religious Studies/ Death & Life Studies

3. 授業の目的と概要：

この授業は、大学院在籍学生による研究発表と討論を通して、宗教学や死生学に関する高度な知識や方法を身につけることを目的とする。

4. 学習の到達目標：

宗教学や死生学に関する高度な知識や方法を身につけ、それを自らの研究に応用することができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

毎回の授業において 1 名ないし 2 名の大学院生が発表をおこない、その内容について全体で討論をおこなう。

6. 成績評価方法：

授業および発表への参加。

7. 教科書および参考書：

特になし。

8. 授業時間外学習：

自らの研究を発表としてまとめること。

9. その他：なし

科目名：宗教学死生学研究演習Ⅰ／ Religious Studies / Death & Life Studies (Advanced Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：木村 敏明（教授）

講義コード：LM15302， 科目ナンバリング：LGH-RES606J， 使用言語：日本語

【（平成 30 年度以前入学者）対応科目名： 宗教学研究演習Ⅲ 】

1. 授業題目：

宗教学の基礎理論

2. Course Title (授業題目)：

Basic theories of religious Studies

3. 授業の目的と概要：

この授業は宗教学の基礎的文献を読み、それをもとに討論を行うことで、宗教学の基本的理論と知識を身につけることを目的とする。

4. 学習の到達目標：

宗教学の基本的理論を身につける

文献を正確に読み、それに基づいた議論を行うことができるようになる

5. 授業の内容・方法と進度予定：

以下のトピックに沿ってテキストの読解と討論をおこなう。

1. イントロダクション

2. 民間信仰

3. 民間信仰

4. 祖先崇拝

5. 祖先崇拝

6. シャマニズム

7. シャマニズム

8. 儀礼と祭り

9. 儀礼と祭り

10. 聖なるもの

11. 聖なるもの

12. 死生観

13. 死生観

14. 現代宗教

15. 現代宗教

6. 成績評価方法：

発表と授業への参加を総合的に評価する。

7. 教科書および参考書：

教科書は用いない。その他についてはイントロダクションで指示する。

A textbook will not be used.

8. 授業時間外学習：

全員が事前にテキストを熟読してくる。発表者は発表の準備が必要である。

Students should read text before class.

9. その他：なし

科目名：宗教学死生学研究演習Ⅱ／ Religious Studies / Death & Life Studies (Advanced Seminar)

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：山田 仁史（准教授）

講義コード：LM22205， 科目ナンバリング：LGH-RES607J， 使用言語：日本語

【（平成30年度以前入学者）対応科目名： 宗教学研究演習Ⅳ 】

1. 授業題目：

ウェスターマルク再読

2. Course Title（授業題目）：

Rereading Westermarck

3. 授業の目的と概要：

民族学者エドワード・ウェスターマルク（1862-1939）の古典的名著『人類婚姻史』を題材に、宗教的信仰や食文化、儀礼の社会的機能などのかかわりの中で、人類の性行動や婚姻のありかたを探ってゆきます。

4. 学習の到達目標：

人類文化の多様性と共通性を感じながら、英文を丁寧に読んで内容の理解を深めましょう。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

“Primitive means of attraction”の章を読みすすめます。参加者による発表とディスカッションにより進行します。

6. 成績評価方法：

和訳の発表（50%）および議論への参加状況（50%）によって評価します。

7. 教科書および参考書：

Westermarck, Edward, The History of Human Marriage, 5th ed., 3 Vols., London: Macmillan, 1921. 入手方法は初回に指示します。

8. 授業時間外学習：

毎回、自分なりの訳を丁寧に作って参加してください。

9. その他：なし



**科目名：宗教学研究実習Ⅰ／Religious Studies (Advanced Fieldwork)**

**曜日・講時：**前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

**学期：**1 学期, **単位数：**2

**担当教員：**木村 敏明、山田 仁史（教授、准教授）

**講義コード：**LM11406, **科目ナンバリング：**LGH-RES608J, **使用言語：**日本語

**【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 宗教学実習Ⅰ】**

**1. 授業題目：**

宗教学調査法

**2. Course Title (授業題目)：**

How to research religions: from planning to fieldwork

**3. 授業の目的と概要：**

他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。

**4. 学習の到達目標：**

- (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
- (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1. イントロダクション
- 2. 第一回：宗教学におけるデータとは
- 3. 第二回：参与観察法
- 4. 第三回：インタビュー調査法
- 5. 第四回：質問紙調査法
- 6. 第五回：文献調査法・情報検索法
- 7. 第六回：映像記録法① 写真撮影の基本
- 8. 第七回：映像記録法② ビデオ撮影の基本
- 9. 第八回：映像記録法③ 写真撮影実習
- 10. 第九回：調査と研究の倫理
- 11. 第十回：現地調査計画の立案
- 12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
- 13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
- 14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
- 15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック

**6. 成績評価方法：**

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

**7. 教科書および参考書：**

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

**8. 授業時間外学習：**

授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.

**9. その他：なし**

**科目名：宗教学研究実習Ⅱ／ Religious Studies (Advanced Fieldwork)**

**曜日・講時：**後期 月曜日 4 講時、後期 月曜日 5 講時

**学期：**2 学期， **単位数：**2

**担当教員：**木村 敏明、山田 仁史（教授、准教授）

**講義コード：**LM21405， **科目ナンバリング：**LGH-RES609J， **使用言語：**日本語

**【(平成 30 年度以前入学者) 対応科目名： 宗教学実習Ⅱ 】**

**1. 授業題目：**

宗教学調査法

**2. Course Title (授業題目)：**

How to research religions: from planning to fieldwork

**3. 授業の目的と概要：**

他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。

**4. 学習の到達目標：**

- (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
- (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1. インTRODクシヨン 後期授業の概要
- 2. 第一回、前期調査のまとめ①フェイスシート整理作業
- 3. 第二回、前期調査のまとめ②聞き取りデータ整理作業 社会組織と生業
- 4. 第三回、前期調査のまとめ③聞き取りデータ整理作業 神社・寺院・その他の宗教施設
- 5. 第四回、前期調査のまとめ④聞き取りデータ整理作業 民間信仰
- 6. 第五回、前期調査成果発表準備①アウトライン作成
- 7. 第六回、前期調査成果発表準備②データの集約
- 8. 第七回、前期調査成果発表準備③スライド作成
- 9. 第八回、前期調査成果発表準備④発表予行演習
- 10. 第九回、前期調査成果発表
- 11. 第十回、現地調査報告書作成①社会組織と生業
- 12. 第十一回、現地調査報告書作成②神社・寺院・その他の宗教施設
- 13. 第十二回、現地調査報告書作成③民間信仰
- 14. 第十三回、現地調査報告書作成④校正など
- 15. 第十四回、総括と反省

**6. 成績評価方法：**

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

**7. 教科書および参考書：**

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

**8. 授業時間外学習：**

授業中に指示された課題、準備。

Students are required to prepare for class assignments.

**9. その他：なし**